

# 実践 知財経営

▼▼▼▼④

秀峰 (福井市)



秀峰 (福井市、村岡右己社長、0776・39・0800) は、

独自の印刷技術で曲面ゴム版を使い、材料に形状の材料に色・柄を直接転写する。従来の加飾加工する。フィルム方法と違い、フィルムを使わず、高い意匠を作ることが不要で低コストで高い解像度が得られる。大手メーカーの自動車の内・外装、製品で採用されている。特許戦略の重要性は高く、継続して高度化を進めている。

住宅設備部品などが主需要先。最近の技術改良によって、加飾面を省けるようになった。開発から約30年。取

独自の印刷装置①と加飾したサンプル

## ゴム版使い曲面に加飾加工 特許戦略 海外で加速

得した特許は合計15の特許取得も進める。0件を超える。これらすでに技術ライセンス特許の作成・管理は、先がある台湾、韓国を東京都内の大手特許事務所に任せている。合(EU)、中国、東「当初からの長い付き南アジアでも取得。各合いで、信頼関係が強い国でのフィルム方式なみ」(村岡社長)といど競合企業の動きを注視している。

2005年に現本社 特許関連の経費は年工場を建てたのを節目 2000万円。「費用に、地元の顧客から、よりも特許の取得が先家電や自動車など大手 決と考えている」と村企業との取引にウエー 岡社長。海外特許は国トが移った。これに伴の補助金なども活用しい品質管理、知財の戦 ている。事業の一段の略を一段強化した。 グローバル化をなら 開発は国内、製造は み、特許戦略の高度化 アジアという取引先の に知恵を絞っている。(随時掲載)

■Xモ ■従業員約40人。受託加工と併せ、16年から印刷装置の販売と技術供与で、独自技術の普及を進めている。